

事業名	男女共同参画推進費	財務コード (事業)	525409
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	山梨県女性団体協議会事業費補助金
------	------------------

担当部課室	企画県民 部 県民生活・男女参画 課 男女共同参画 担当(内線)	1610
-------	----------------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H9 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	補助(山梨県女性団体協議会)						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <th>誰(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>当該団体の会員及び傘下の各種女性団体に所属している女性</td> <td>エンパワメントを図り、社会参画が促進される</td> <td>男女共同参画の着実な推進</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	当該団体の会員及び傘下の各種女性団体に所属している女性	エンパワメントを図り、社会参画が促進される	男女共同参画の着実な推進
誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
当該団体の会員及び傘下の各種女性団体に所属している女性	エンパワメントを図り、社会参画が促進される	男女共同参画の着実な推進					
事業の内容 主に 24年度	<p>事業概要: 女性の社会参画を促進するためのエンパワメントを目指して、山梨県女性団体協議会が実施する事業に要する経費を助成</p> <p>補助先 山梨県女性団体協議会 (H25年5月現在38構成団体) / 会員: 各構成団体の長</p> <p>補助率 定額</p> <p>補助額 600,000円</p> <p>内容 H24 (1)研修事業 「男女共同参画の推進に関する研修」ほか全3回 機能別研修会(「教育・国際交流」「福祉・健康」「生活」「労働」「地域活動」の4部会)21回 (2)広報活動 機関誌発行年2回 (3)交流事業 研修記録集発行</p> <p>H23 (1)研修事業 「女性リ-ダ-ステップ」講座」ほか全9回 ハソコ研修4回 機能別研修会(「教育・国際交流」「福祉・健康」「生活」「労働」「地域活動」の4部会)14回 (2)広報活動 機関誌発行年2回 (3)交流事業 研修記録集発行</p>						
根拠法令等	山梨県女性団体協議会事業費補助金交付要綱						

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度		24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	
活動指標 : 全体研修(交流研修会・先遣地交流等) : 機能別部会研修(リーダー養成等) : 広報活動(機関誌発行・研修記録集の発行)	全体研修事業9回 部会研修事業14回	全体研修9回 部会研修14回	全体研修4回 部会研修21回	全体研修4回 部会研修21回	全体研修事業4回 部会研修事業21回	全体研修事業4回 部会研修事業21回	活動指標 目標設定の考え方 過去の実施実績による データの出典等 補助金実績報告書
	広報活動 2回 計 25	広報活動2回 計 25	広報活動2回 計 27	広報活動2回 計 27	広報活動2回 計 27	広報活動2回 計 27	
活動指標達成率 (実績値/目標値)					%		
成果指標							成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率 (実績値/目標値)					%	
決算額、予算額	600		600		600	600	成果指標によらない成果 各機能部会において、それぞれ、男女共同参画に関わるテーマを設定して研究を進めることにより、エンパワメントが図られ、地域における調査など、課題の発見・整理のための実践的な取組みや研究成果の取りまとめを行い、全体研修会では各部会で取りまとめた研究成果の発表を行うなど、社会参画が促進されている。
(千円) うち一財額	600		600		600	600	
所要時間(直接分)	40 時間		40 時間		50 時間	30 時間	
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間		0 時間	0 時間	
所要時間計	40 時間		40 時間		50 時間	30 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	82		82		103	62	

これまでの事業の見直し・改善状況

平成8年6月に「山梨県婦人団体連絡協議会」と「やまなし女性会議」が統合し、「山梨女性団体協議会」が発足したのを機に、従前の各種女性団体が実行委員会を組織し、これに対し交付してきた補助金を、平成9年度から「山梨県女性団体協議会」への交付に一本化した。

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率		平成24年度は、全体研修会の一部を機能別(「教育・国際交流」「福祉・健康」「生活」「労働」「地域活動」)の部会ごとに行うワークショップ等の研修に振り向けたことから、全体研修は目標9回に対し実績4回となったが、部会研修は目標14回に対し実績21回と大幅に実施回数を増やして実施するとともに、機関誌による男女共同参画に関わる広報活動を目標どおり2回実施するなど、予定された活動量を上げている。	
	b		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記入すること
H24年度成果指標達成率		各機能部会において、それぞれ、男女共同参画に関わるテーマを設定して研究を進めることにより、エンパワーメントが図られ、地域における調査など、課題の発見・整理のための実践的な取り組みや研究成果の取りまとめを行っている。	
	b	また、全体研修会では各部会で取りまとめた研究成果の発表を行うなど、社会参画が促進され、概ね意図した成果をあげている。	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	近年、当該補助金の執行確認等に相当の時間を要している。団体の会計担当者の高齢化や団体の活動を掛け持ちしながら事務処理を行っている状況などが理由としてあげられるが、特に会計担当者が交替した場合は顕著となるため、だれが団体の会計担当者となってもより適正・迅速に処理が行われるよう対策を講じ、事務処理時間の縮減を図る必要がある。	k

・「以外の判断項目」の欄
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善 m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	団体のだれが会計担当者となってもより適正な会計処理が行われるよう、経理処理の留意点を記したマニュアルを作成し、団体担当者が会計処理を行う際の参考にしてもらうことにより、補助金の執行確認等の際にかかる事務処理時間の縮減を図ることとする。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。